

町民の広場

俱知安農業高校3年 村上 勇太さん



平成28年度俱知安町子ども議会に議員として参加された村上勇太さんに、現在取り組んでいる事などお話し頂きました。

今年度、本校は多くの交流事業に取り組んできました。本校と地域とが関わった取り組みをいくつか紹介します。まず「まちづくりフォーラム」です。これは町青年会議所が主催し、2回行われ、俱知安の農業と観光を結びつける

活動や、俱知安町の将来への展望などが話し合われました。

じゃが祭りでは、ねぶたへの参加と生産物販売でおみせの出店を行いました。ねぶたではこの祭りに参加した人たちもたくさん交流やパフォーマンスを競うことができ、町の活性化につながったと思います。

また、本校で開催した収穫祭では多くのお客様に来校していただき、生産物販売や各専攻班の模擬店の活動でもてなしをすることができました。

さらに、外部との連携を図るため、外務省の中条さんを本校に招き、二セコエリアを海外にどうアピールしていくかや、世界市場を相手に日本の農産物はどうアピールするか等

を講演していただきました。講話後の質疑応答ではたくさん生徒が自分の持つ疑問を中条さんに投げ掛け、なかには英語で質問する生徒もいました。

来年度も、俱知安農業高校は多くの方々と交流を大切にし、学校の活動が活性化できる取り組みができるよう頑張っていきます。



子ども議会で発言する村上君

議長室からこんには

寒さも一段落し、ようやく桃の節句の季節となりました。暑さ寒さも彼岸までと申しますが、今年はこのほか春の訪が早いようです。

春の気配を感じられる3月は卒業、転勤などさまざまな人との別れ、そして旅立ちの季節です。

昭和の時代、この時期俱知安駅は大変な賑わいでした。多くの転勤者とその家族、七色の紙テープに「さよなら」のプラカードなど、涙、涙の見送りでした。汽車が見えなくなるまで腕を振っていたもので、懐かしい情景です。

最近、会議や講演会など多くの話を聞く機会があり、私に気がなつてメモを取ったことを書かせていただきます。

まず新幹線です。この雪解けから北海道新幹線のトンネル工事が始まりますが、トンネルか

ら出る残土の捨て場が花園になり、多くのダンブが町中を行き来します。約8年間の長丁場です、交通事故に十分に気を付けましょう。

俱知安駅に何本の列車が止まるのでしょうか？

新幹線・高速道路が出来ること俱知安は本当に良くなるのでしょうか？

「何でもあるからとりあえず札幌」やストローク現象により札幌へではなく「俱知安は便利な街」であると言つたための整備の要として、レンタカー、大型駐車場、バスターミナル、安くて温泉付きのビジネスホテルなどが必要で、それに食べるもの、北海道の三大食は寿司にラーメン・蕎麦、それにジンギスカンです。

後志の中心都市として自信を持って頑張ります。

二セコ観光については今シーズンには外国からのお客様が少し減少しました。その原因として①雪が少ない②宿泊費用の割高③スキー場エリアの混雑などが考えられるようです。これからの二セコエリアとしては、5月6月9月10月をどのようにお客様で埋めていくかが課題です。山の繁栄は町の繁栄につながります。

みんなでウエルカムの優しい気持ちでお迎えすることが大切です。

○この定例議会から予算特別委員会が設置されます。議会改革も大方進んでおり、去年に続いて町民懇談会も開催されます。

町民ファーストの議会を傍聴またはインターネットでご覧ください。